

## 不要発射波 探索騒動記

本日、長野市及び松本市の複数のレピーターに対する長期間に渡る妨害局を探索し、妨害原因の排除ができましたのでレポートします。

これまで J R O W S 長野の聖山レピーター (1292.30MHz) は正体の判らないノイズに頻繁にアクセスされ続けておりましたが、その妨害波等を長期間観察して、それがワイヤーズのノード局からの不要発射波とほぼ断定できた為、その発信元を松本市内まで探索に行き、該当ノード局の電波の発射を止めていただきました。

当方が常時使っている長野のレピーターには、半年前くらい前から不要な迷惑アクセスが多々あり、最近ではノイズまじりの音声が断片的に四六時中流れるようになってうるさくてたまらなくなりました。

当方が固定で受信すると、松本方面からのかなり弱い信号で、しかもその周波数がオールモード機の VFO では追いつけない速さで 1271MHz 付近から 1273MHz 付近まで急激にドリフトし、それが上下どちらへ動くかも不特定で、非常に受信しにくいものでした。

松本方面に CM 等で行った時はモバイル機で受信してもなかなか妨害波はうまく受信できず、ただアップリンク周波数の近くで瞬時観測される程度で、まったくお手上げ状態でしたが最近あまりに酷くなってきた為、固定で複数の無線機とスペアナで監視すると、ワイヤーズ波発射の時のみレピーターがアクセスする事が分かり、しかもその瞬間はレピーターアップリンクの帯域にも不要発射波がフラフラ出る事も固定のスペアナ観測でつかめました。

しかし「ワイヤーズ」の事はよく知らないし連絡先も判らないので、ネットで調べたりしたらその発射位置等が地図で表示されており「しめた！！」と、14 日 早速松本の JA0BZC 矢花 OM に電話で事情を話したところ、「松本市内のレピーターもなんだかうるさくて対策が必要か？」と困惑していた所でした。

場所を伝えたら、即〇〇さんの家の付近では？と回答が、、、なんとその場所は無線のプロ技術者集団の社長宅の裏。

まさかそんな馬鹿な事は有り得ないとは思いますが、ネットでその場所が示されているので、知り合いの OM 局から電話で確認していただいた所、その方は自宅で無線はまったくやっていないので関係ない事が判明。

更に今回の件では付近のアマチュア局の情報等も頂き、また社の技術者の方にも情報収集したりしていただき、非常に親切に協力していただきました。

関係各局にはご迷惑をお掛けし、大変失礼いたしました。

しかしワイヤーズのネット位置情報は結構いい加減なものですね！！

さてそれから昨日の夕方、松本の矢花 OM の情報でフォックスハンティング好きのメンバ

一が集まり発射元を探索し、ある一つの五階建てマンションを特定し私に連絡してもらいました。

しかし暗くなりそのビルの誰が?? となった様で、当方が本日松本市まで出向き、ある程度範囲は絞られておりましたので30分程度で発射元を見つけ、無事ノード局の送信を止めて頂くことができました。

しかし免許のあるHAM仲間をいきなり尋ねて「オタクから不要発射波が・・・」と言うには、それなりのデータも必要でしょうから、スペアナによる至近距離調査での証拠固めも行った上で訪ねました。

結果は昨日の探索のマンションとは違い、100m程度離れた個人宅設備でした！！

ネットに書かれている場所より5~600m?は離れておりましたが、約半年近く悩まされたレピーターノイズによようやく終止符が打たれました。

これはおそらく無線機単体の寄生振動等によるものと思われませんが、それが松本市から長野市まで受信できるほどの強さで発射されているとは誠に驚きました。

探索装備や該当局発見時の写真やスペアナ映像も撮りましたのでご覧下さい。

(宅裏でアンテナは住宅の影になる部分での測定です)

なおスペアナ画像は晴天時での屋外の為、殆ど見えない様な物となってしまいました。

後で思い出したのですが、管面撮影用にダンボール箱を持参していたのに使わず写真を撮っていましたので、帰りにアンプの効果と写真撮影の練習の為、長野道筑北PA内でレピーター波測定で確認をしました。

強電界の場所でもスペアナ前に広帯域アンプを入れても問題なくFBに作動しましたが、逆に無線機前に広帯域アンプを入れると、ATTを20dB入れてもBFだと体感してしまいました。

(空中線 <> 0~20dB 可変 ATT20dB <> 20dB 広帯域アンプ <> 無線機 )

さすがにダイナミックレンジの違いは絶大ですね。

それにしても「不要発射波・スプリアス等」には気をつけたいですね！！